民生委員・児童委員

7つのはたらき

民生委員・児童委員は、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市町村等の関係者・機関と連携しつつ、課題を抱える住民の相談・支援、地域福祉の推進にあたっており、その活動は大きく7つのはたらきがあります。これらの活動は、初めて民生委員として活動される方でも取り組むことができます。

社会調査

担当地区の住民のニーズを日常的に把握します。

相談

地域住民の立場に立ち、相談にのります。

連絡通報

ニーズに応じた福祉サービスが受けられるよう、関係行政機関や施設、団体等とのパイプ役となります。

生活支援

自立した生活を応援し、支援体制をつくっていきます。

情報提供

必要な社会福祉の制度やサービスの情報を提供します。

調整

ニーズに応じた、適切なサービスが利用できるよう、関係機関と調整し、支援します。

意見具申

問題点や改善策など、地域住民の声を必要に応じ、民生委員児童委員協議会を通じて関係機関に届けます。

現役民生委員・児童委員 Interview（インタビュー）

地域包括支援センターと岐阜市社会福祉協議会のコーディネーターと一緒になって取り組む「北町カフェ」

後藤栄一氏（岐阜市）

ひとり暮らしの高齢者が多い地域のため、地域包括支援センターと岐阜市社会福祉協議会に協力をお願いし、地域の方が集まることのできる場所として「北町カフェ」を運営しています。同カフェは、地域の集会場をお借りし、高齢者でも参加しやすく、お茶を飲みながらの交流や、ゲームをするなど地域の方の憩いの場となっています。活動を通じて、地域の皆さんの元気な顔を見られることや、知らない人同士が繋がっていく様子を見ると、こちらも元気をもらえます。今後も、関係機関と連携しながら、地域のボランティアとして活動していきます。

民生委員児童委員協議会の定例会に学校長を招いて子どもたちの生活状況を共有する活動

鈴木由美子氏（大垣市）

大垣市中川地区では、毎月の定例会に小中学校長も出席され、子どもたちの様子や学校の取り組みなどについて報告されます。また、私たち民生委員・児童委員は毎年小中学校を訪問し、授業参観や校庭清掃の奉仕活動、問題を抱える子どもへの支援などについて情報交換会を開いています。学校を訪問するたびに、子どもたちの元気な挨拶にパワーをもらい、タブレットを使った授業で目を輝かせる様子に未来への希望を感じています。これからも小中学校との連携を深めながら、子どもたちが地域で安心して暮らせるよう、見守りや支援を続けていきます。

活動事例

誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、さまざまな活動を行なっています。

生活支援活動「お互いさまネット芥見」に民生委員・児童委員が参加・協力

岐阜市社会福祉協議会の芥見支部では、高齢者のちょっとした生活の困りごとに対応するため、ボランティアによる生活支援活動「お互いさまネット芥見」が行われています。活動の中心的役割を担うコーディネーター会議には、毎回、民生委員・児童委員が参加し、「お互いさまネット芥見」に寄せられる依頼に対する助言、地域の福祉ニーズの把握、日常の見守り活動などへとつなげられています。

民生委員・児童委員同士の「ガヤガヤ交流会（相談される側の相談会）」を開催

飛騨市古川地区の民生委員児童委員協議会の定例会の時間を活用し、民生委員・児童委員同士で小グループに分かれ、活動の事例や悩み等を互いに相談し、委員相互に話し合う場を設けています。この場で悩みや解決策等を共有することで、自身の不安を取り除き、支え合うことで絆を深めており、「学びと支え合いの場」として機能しています。

町主催のイベントの来場者にバルーンアートをプレゼント

池田町では、民生委員・児童委員がバルーンアートの技術を習得し、町内で行われるイベントに参加して、その場で作った作品をプレゼントしています。みんなで和気あいあいと作りながら、活動内容を周知し、町民とふれあう機会になっています。